

JR磐越西線が全線再開

喜多方—山都間 濁川橋りょう復旧

昨年の8月に発生した記録的な豪雨によって被災し、喜多方—山都駅間(9・9キロ)が不通となっていたJR磐越西線が4月1日、約8カ月ぶりに全線での運転再開を果たしました。

昨年8月3日、会津北部を襲った集中豪雨によって、喜多方市の濁川橋りょうの橋脚が流され、JR磐越西線はこの区間が不通となりました。被災直後から県と地元自治体

はJR東日本と協議を進め、国の財政支援を受けながら、県、沿線自治体で復旧費用を負担する方向で調整を図り工事に着手、この度の全線再開につながったことです。

1日、喜多方駅前や新潟真津川駅前行われたセレモニーでは、列車の運転再開を喜ぶ地元住民や関係者が手を振って見送り、または出迎えるなど、大きな賑わいを見せました。



はJR東日本と協議を進め、国の財政支援を受けながら、県、沿線自治体で復旧費用を負担する方向で調整を図り工事に着手、この度の全線再開につながったことです。

1日、喜多方駅前や新潟真津川駅前行われたセレモニーでは、列車の運転再開を喜ぶ地元住民や関係者が手を振って見送り、または出迎えるなど、大きな賑わいを見せました。

鉄道の維持には懸念も

昨年7月、JR東日本は、利用者が少ない地方の35路線の66区間の収支を公表しまし

示されたデータは注意が必要

JR東日本が公表した収支データで特に注

日は好日

高瀬の大ケヤキ(神指城跡)

わたしが住む神指町には、蒲生氏郷が嫡男「蒲生秀行」公のあとに領主となった「上杉景勝」公の命により、直江兼続が築城に着手した「神指城跡」があります。残念ながら徳川家康の会津征伐を前に完成を見ることなく廃城となり、いまでは「高瀬の大ケヤキ」として残る二ノ丸北東隅の土塁や本丸跡に当時の面影を見ることが出来ます。春の時期、推定樹齢五百年の大ケヤキの周りには桜が満開となり、遠くに磐梯山を望むことのできる景色が心を和ませてくれます。



目されるのが、百円の営業収入を得るのにどれだけのコストを要するかを表す指数「営業係数」といわれるものですが、このコストの捉え方にはいくつかの考え方があります。今回のデータにある線区と路線長、電化・非電化、単線・複線、1日あたりの乗客数などの条件が同じような第3セクターや私鉄と比較すると営業費用が大きく異なる場合もあり、さらに営業収入につい

活性化対策協議会を設立

とは言っても、限られた財源を充てるには

それ相応の効果を上げなければなりません。福島県と沿線自治体は、「活性化対策協議会」を設立し、駅周辺の環境整備や二次交通の充実、観光誘客はもちろんのこと、地元住民が利用しやすいダイヤの見直し等も視野にいたれたJR東日本との協議など、利活用を図るためのあらゆる方策を用いて、鉄路がもたらす地域経済への波及効果を最大限に引き出していく方針です。

日常の活動報告

AICTデジタルまつり2023春

3月18日、19日の2日間、スマートシティAICTで開催されました。会津若松市が取り組んでいるスマートシティを体験、体感できるイベントとして、

- ・デジタル地域通貨
- ・デジタル観光案内
- ・食農産物マッチング
- ・デジタル防災
- ・ヘルスケアサービス
- ・デジタル行政手続き

などの各分野の紹介があり、若い方からご年配の方まで幅広い年齢層の市民の皆さんが



興味を示されておりました。

デジタル田園都市国家構想推進交付金TYPE3に採択されたスマートシティ会津若松のこのプロジェクトは、県内でも先駆けの取り組みとして注目されており、県では県内他地域への展開を視野に入れ、会津大学が積極的な協力を行うなど、会津若松市と連携を密にしながら推し進めています。

福島空港開港30周年記念式典



3月20日、商労文教委員長の公務として出席。1993年に「福島空港の玄関口」として開港した福島空港は、航空機の利用に加え、地域振興としての役割のほか、陸路が寸断された東日本大震災では、旅客臨時便の運航や国内外からの救援物資の受け入れ拠点として機能するなど災害対応の役目も担ってきました。ピーク時は国内・国際線合わせて9路線が運航していましたが、現在は大阪、札幌の2路線のみとなっております。県は定期路線を拡充するため、国際チャーター便の運航に力を入れており、さらにはプライベート

ジェットの需要なども的確に捉えられるよう、空港の活性化を図っています。

テラノアカデミー会津オープンキャンパス

3月25日、喜多方市塩川町にある県立テラノアカデミー会津では、24年度に入学を希望する学生のためのオープンキャンパスが開催されました。

普段は足を運ぶ機会があまりないこちらの施設ですが、現場主義を実践する私は、人材育成機関の現状をこの目で確かめるため校長にアポイントを入れ訪れた次第です。

県立テラノアカデミーは、浜・中・会津のそれぞれの地域に設置されており、会津にはその地域性を考慮し、自動車整備科、電気配管設備科、観光プロテニス学科の3つのコースが用意されています。

少子化の影響からか近年では定員割れの状況が続き、それぞれのカリキュラムの魅力化

に加え、専門学校や大学機関との差別化、さらに県内各地から学生を受け入れられるよう寮の整備や拡充といった課題が挙げられます。

今後産業界が求める人材の育成機関としての役割を担うため、課題の克服に向けて引き続き提言を図ってまいります。

令和4年度東日本大震災追悼復興祈念式



3月11日、東日本大震災から12年が経過しました。4年ぶりに県外の来賓も招き、コロナ禍前と同規模となる約330人が出席した追悼復興祈念式には、政府から岸田首相の他、西村康稔経済産業相らが臨み、15万国の駐日大使らも参加しました。帰還困難区域に指定された地域のうち、3月31日には浪江町、4月1日には富岡町の一部で避難指示が解除されるなど、復興は着実に前進しています。

議員インターンシップの報告と募集

2月から二ヶ月間、福島大学の学生3名のインターン生を受け入れた課題が挙げられます。

今後産業界が求める人材の育成機関としての役割を担うため、課題の克服に向けて引き続き提言を図ってまいります。



普段わたしが行っている朝の街頭演説や活動報告資料のポスティング作業のほか、喜多方市の屋内子ども遊び場めぐらさの調査等に同行してもらいました。こうした活動を通じて、若い彼らの意識に変化をもたらし、政治に対して積極的に参

加するきっかけとなればと願っています。わたしの事務所では、随時インターンシップの申し込みを受け付けておりますので、関心のある学生の方は電話またはHPからお問合せください。

今後の主な予定

- 【4月10日】AICTビューティーカレッジ入学式 県立高校入学式
- 【15日】国際研究教育機構 設立記念シンポジウム 一箕地区区長会懇談会
- 【23日】戊辰殉難者 春季祭典
- 【27日】県産業振興 センター理事会
- 【5月13日】自民党 福島県選政経セミナー
- 【17日】佐藤よしのり 県政報告会 (4月8日現在)

編集後記

月刊と言いつつ、議会を挟んだため一ヶ月発行が遅れてしまい大変申し訳ありません。今年の会津若松市は三月に桜が開花するなど、例年とは少し異なる春を迎えています。これから先、会津も桜満開のなかで行われる入学式が、当り前の光景になってしまっているだろうか。